

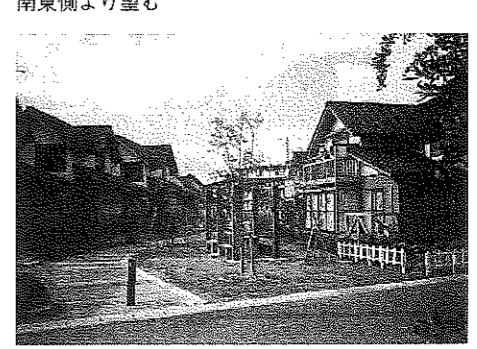
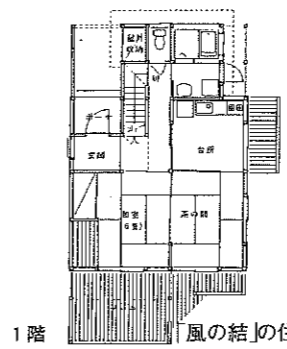
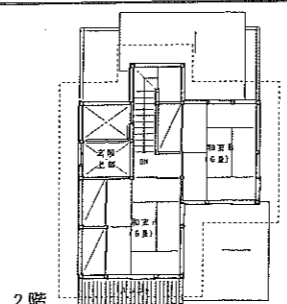
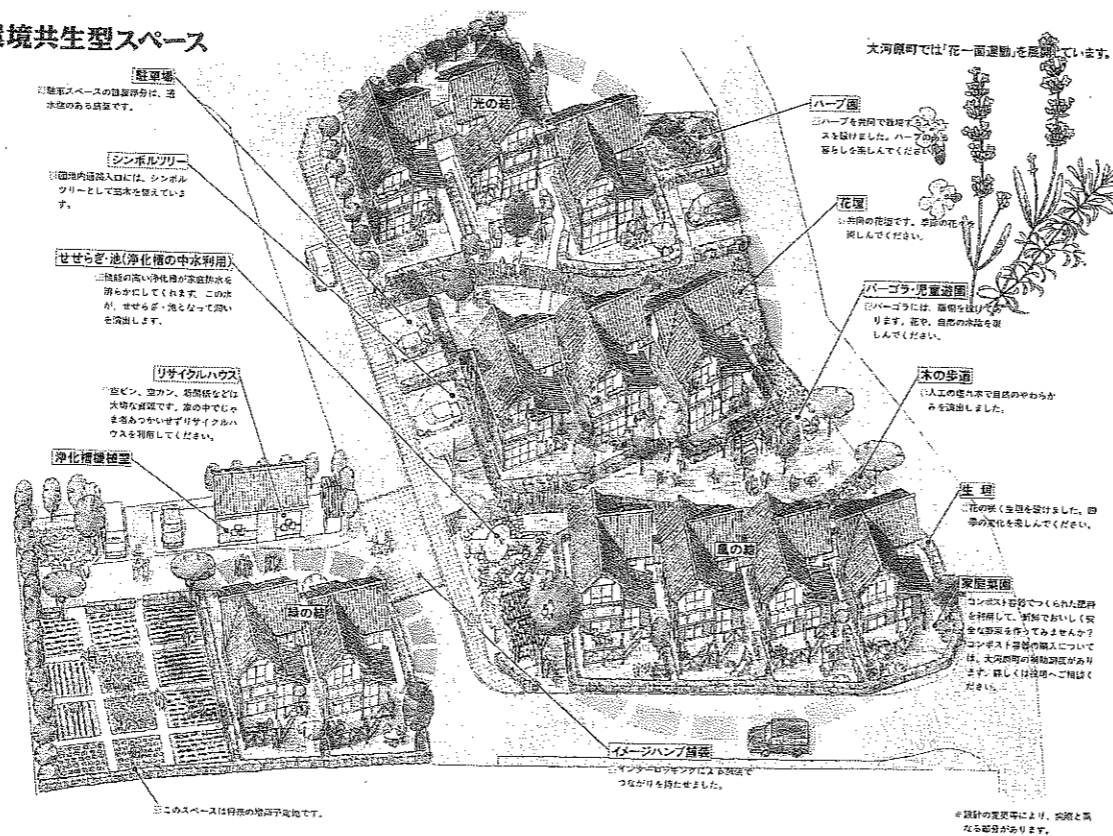


ラベンダーの手植風景

「緑の結」

池とパーゴラを通して住棟を見る

環境共生型スペース



「結」ごとの環境共生

「結」ごとに、それぞれの名称にふさわしい、環境共生のためのシステムをとり入れました。

「光の結」の住戸

サンルーム
太陽の光を生活のなかに取り込んで楽しむスペースです。土間になっているのでいろいろな使い方ができるのではないのでしょうか？

「緑の結」の住戸

花台のあるデッキ
緑だけではなく、デッキを色とりどりの花で溢れさせ下さい。デッキは、家の一部であって庭の一部、内と外をつなぐエリアです。

「風の結」の住戸

排熱のシステム
夏の暑い空気を自然な風の流れに乗せて外へ...さわやかな室内気候のなかで健康的な生活を楽しまてください。

ワーク & ワーク 新建

県営大河原 結ヶ丘住宅

所在地：宮城県大河原町
敷地面積：3,257.15㎡
延床面積：943.15㎡
建築面積：677.71㎡
構造階数：木造2階建
工事費：2億4千万円(推定)
設計期間：平成4年10月～5年7月
施工期間：平成5年11月～6年4月
施工者：東洋殖産(株) 遠藤建設(株) 樹林建設
設計者：(株)地域環境リサーチ代表取締役 大竹 雅之

を身近に体験していただいている。これらの考えのもとに建てられたこの住宅は、「環境共生」の考え方に賛同して下さる方に入居していただきたい。そのため事前にこの「結ヶ丘住宅」の建設の意味を説明したパンフレットを配布し、この内容に賛同いただいた方に入居をお願いした。また、住民の方々が入居される時に「入居式」を行っている。入居者や関係者が集まって、五月のさわやかな風の中ラベンダーの手植えを行い、そのあとで、手作りのハーブクッキーを食べながら、お茶会を行った。今年で、この住宅も丸二年目を迎え、また、ラベンダーのさわやかな香につつまれる季節がやってきた。

これからも「結」のコミュニティを大切にした住まい方がなされ、この町の「まちづくり」のシンボルとして親しまれていくことを願っている。(大竹雅之)

講評
規模は小さいけれども、環境共生住宅団地として造られたものとして、意味が大きい。これからの使われ方を見ていきたいと思う。また、県と町が手をとりあい、公営住宅のあり方として評価されるであろう。これからの住まい、まちづくりの原点として拡がっていくことを期待する。(平本重徳)

建設主旨
大河原町は、宮城県の南部に位置し、東北地方としては、雪も少なく、比較的温暖な地である。
町では平成三年度より、HOP E計画(地域住宅計画)の推進に取り組んでいる。この計画の中で「環境共生のまちづくり・住宅づくり」を打ち出している。そして県営住宅として建設されたこの「結ヶ丘住宅」は、これらの考え方を取り入れた設計を行っている。普通、公営住宅の名称は、その土地の名称を付けることが一般的であるが、ここでは、「結ヶ丘」と「結」の字を使用している。「結」は、昔からの地方のコミュニティ共同体である。
この住宅は、全部で二二戸であるが、これらを三つの小ブロックに分け、それぞれを小さな結の単位に分割し、「隣組」を形成し、それぞれ「光の結」「風の結」「緑の結」として、住宅のデザイン等をそれぞれキーワード、「光、風、緑」をイメージさせるしつらえとした。
オープンスペースには、木製のパーゴラや木道を設けている。この「木」は、本県の工業技術センターが開発した「人口埋木工法」の木材であり、「地場産品」の振興にも対応した。更にこの住宅地内に設けられた浄化槽は、一OPP M以下まで水を浄化し、オープンスペースに設けられた池に再循環させ、資源のリサイクルのシステム

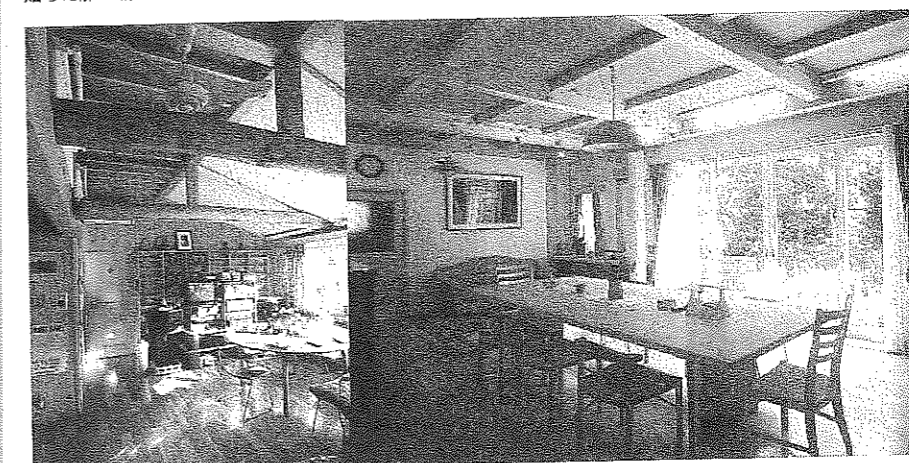
ワーク & ワーク 新建

若宮の家

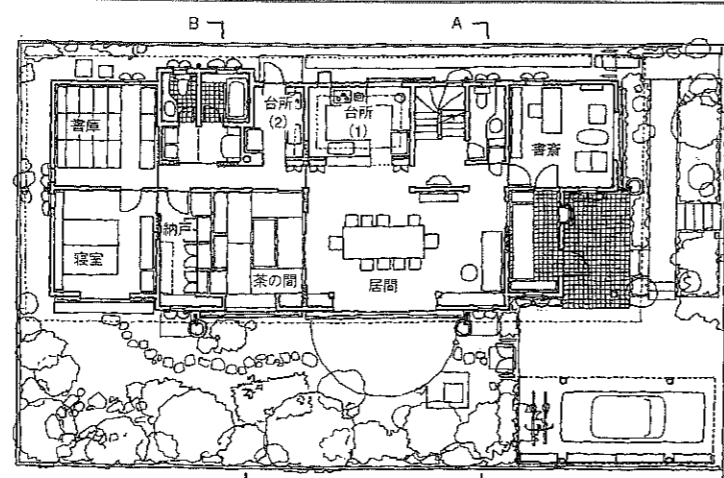
所在地：東京都中野区若宮
敷地面積：340.8㎡
延床面積：245.4㎡
建築面積：145.0㎡
構造階数：木造2階建
(一部地下室)
工事費：8千7百万円
設計期間：1991年4月
～92年7月
施工期間：1992年7月
～93年4月
施工者：広・佐藤工務店
設計者：生活建築研究所
山本 厚生
中島みさき



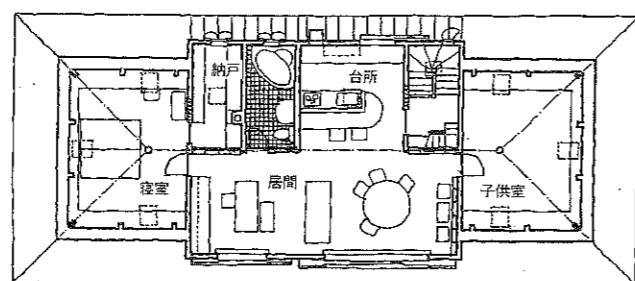
道路から見た玄関ポーチ ウィスキー樽利用の天水桶・宅配ボックス付きの飾り窓・お気に入りのタイルを貼った扉・堀の大谷石を再利用した斜路



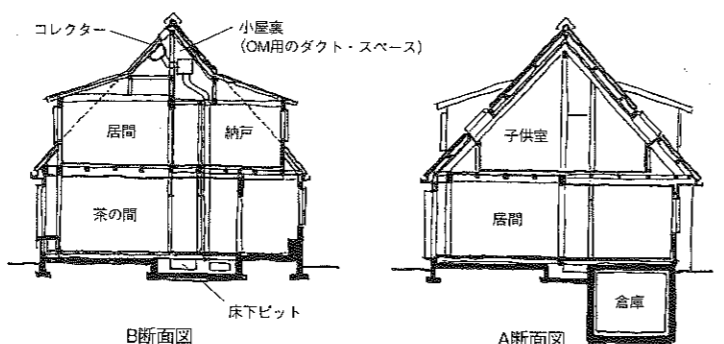
2階の居間 1階の居間



1階平面図



2階平面図



B断面図

A断面図



設計打合せのスケッチ
(上) 当初の案 (中) 途中の案 (下) 最終案

設計の進め方

住まいは、そこに住む人たちの家庭生活がより豊かに展開されるように造られるべきだと考えるから、ここでも、次の二つのことを貫くようにした。

一、住み手の生活要求実現のためにのみデザインするように心がけること。

住み手の実際の暮らしや生き方のなかにあるあれこれの生活要求を根こそぎつかみとるよう努め、その生活の全体像と、それを実現する条件とを明らかにしながら、そのすべてを落ちなく満たすように追求する。

二、必ず、住み手と一緒にデザインすること。

それらの要求を実現する様子が住む人自身によく分かるように、住む人たちの打ち合わせを重ね(ここでは設計中に二四回)、その場で創意工夫を出し合い、皆の合意で形造っていく。

設計が進むにつれて、生活の場面場面の要求は、そのイメージや楽しい工夫とともに住み手から溢れ出てきた。

同時に、私たちは試行錯誤しながら、建物全体をまとめるデザインのスジをより簡明なものに整えていった。

まず、この生活全体のイメージや土地条件の考慮から、二階を寄せ棟の大屋根のなかにおさめて、平屋風とした。また、柱や梁を単純なリズムで並べ、きっちりとし

ンメトリーに配置した。建具や造作などの形やおさまりも統一するようにした……。

こうしたスジが、すべての部分的な要求とも無理なく合致し、しかも、建物の架構や作り方でも合理的で、整理された美しさを持ち得る、と誰もが思えるようになっていった。

なかなか得がたい嬉しい経験だった。私たちのやり方では、住み手の生活意欲やイメージの吸収力などがデザイン追求に影響してしまいがちで、住み手とのコミュニケーションの大切さを痛感している。

(山本厚生)

講評

親子二世帯の家族を一つの寄せ棟大屋根に包むこの住居は、周辺の住宅地に対して可能な限り軒を低く抑え、門扉を設けず、清明にとけ込んでいる。

よく整理された平面と架構は単純、平明で力強く、大振りの土色素焼瓦の屋根、白漆喰木縹摺の壁と、内外にわたるたっぷりしたヒバの建具の取り合わせは南欧風であるが、素朴な草葺民家を連想させて健やかに美しい。

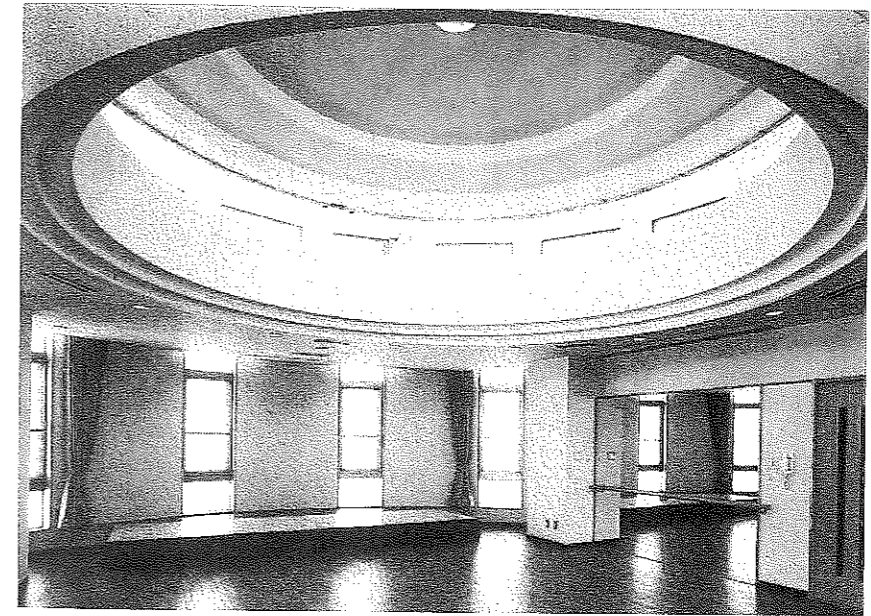
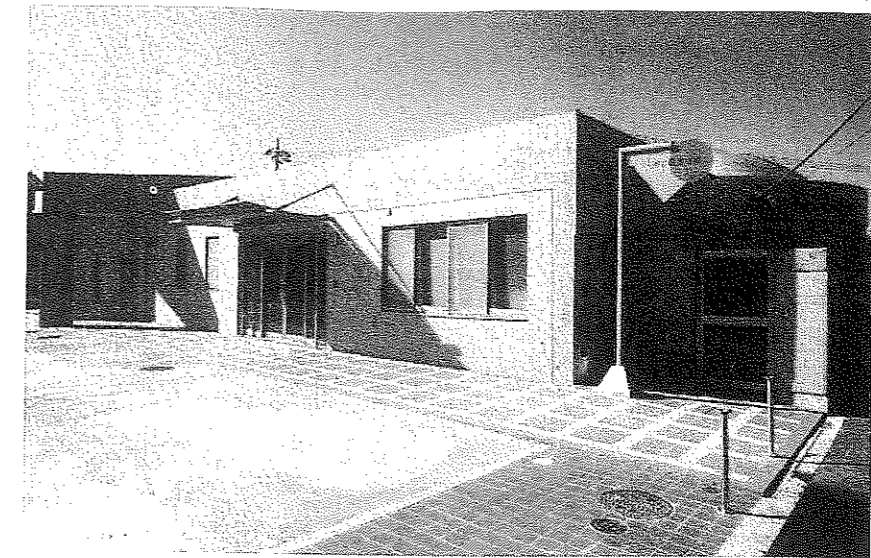
住まい手の厚い思いと、それに応えた設計者の創意と工夫を尽した努力は良き施工者を得て豊かに結実し、芳香を放つ傑作となった。

(小林良雄)

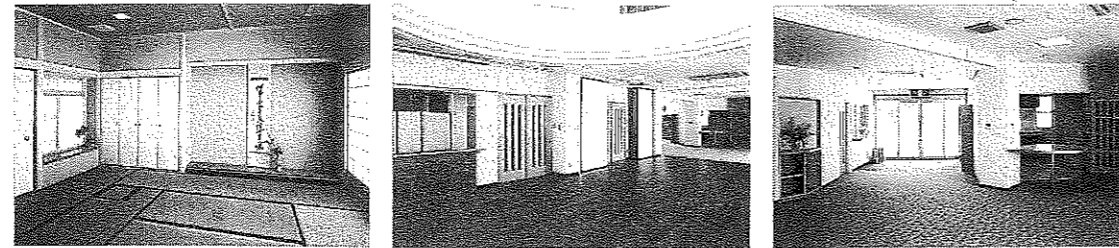
ワーク & ワーク 新建

大椎台 自治会館

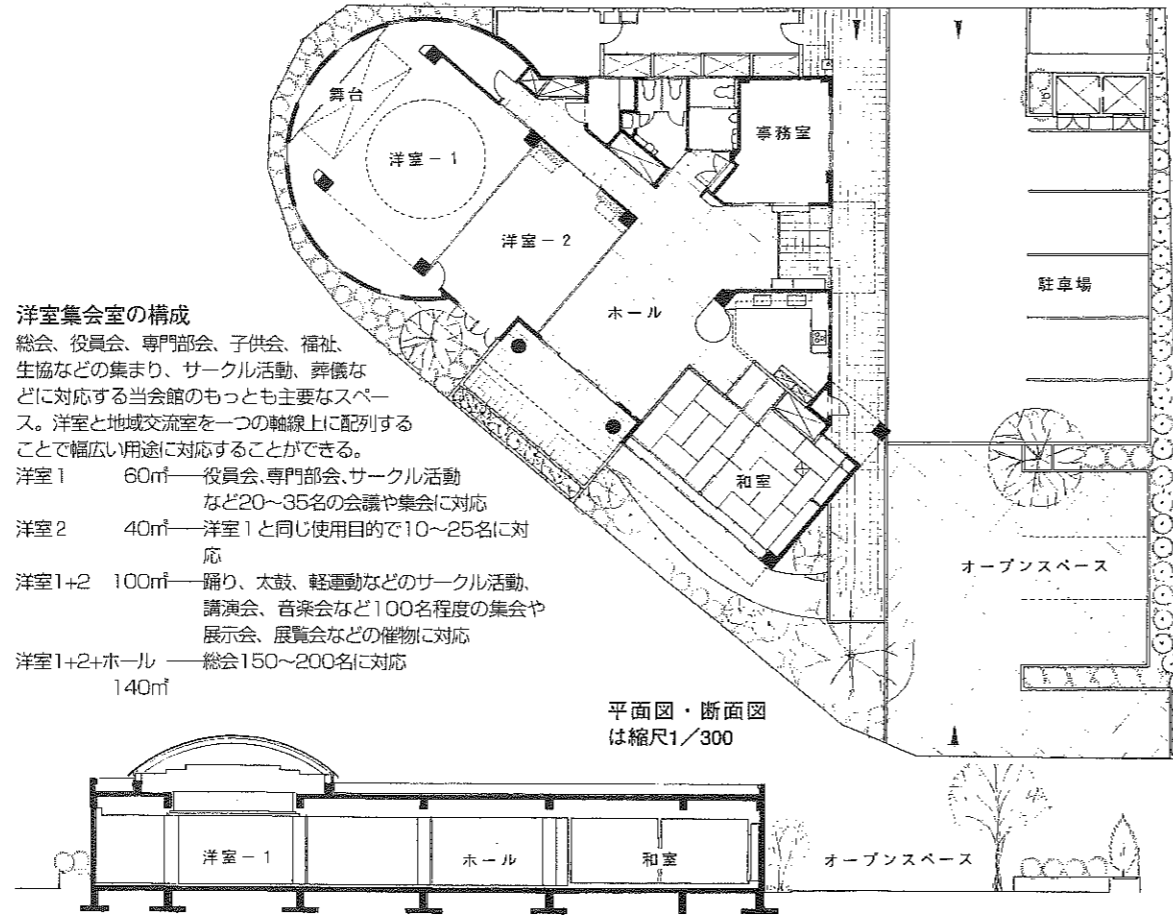
所在地：千葉市緑区大椎町
敷地面積：852,483㎡
延床面積：299,695㎡
建築面積：311,455㎡
構造階数：鉄筋コンクリート造平屋建
工事費：1億5百万円
設計期間：平成4年9月～5年4月
施工期間：平成5年6月～6年2月
施工者：(株)内野屋工務店
設計者：(株)SD建築設計事務所
代表取締役
岩瀬昌照



(上) 玄関まわり外観 (下) ドーム型屋根の洋室



広間型の茶室としても使える和室 洋室1からホールまでを開放した時 地域交流の場となるホール



洋室集会室の構成

総会、役員会、専門部会、子供会、福祉、生協などの集まり、サークル活動、葬儀などに対応する当会館のもっとも主要なスペース。洋室と地域交流室を一つの軸線上に配列することで幅広い用途に対応することができる。

- 洋室1 60㎡—役員会、専門部会、サークル活動など20~35名の会議や集会に対応
- 洋室2 40㎡—洋室1と同じ使用目的で10~25名に対応
- 洋室1+2 100㎡—踊り、太鼓、軽運動などのサークル活動、講演会、音楽会など100名程度の集会や展示会、展覧会などの催物に対応
- 洋室1+2+ホール 140㎡—総会150~200名に対応

設計主旨

大椎台は千葉市の郊外にある八〇〇世帯ほどの戸建住宅街である。街並みははげしく緑豊かな田園風景がどこまでも広がっている、とても暮らしやすいところだ。住民の自治意識は高く、サークル活動も活発に行われている。そんなまちの人々から、なんと新建の千葉支部に自治会館の設計が依頼されたのである。

設計者の選定については、会員どうしで話しあい、名乗り出た四者でミニコンペを実施して、自治会に選んでもらうことにした。結果として選ばれたのが、SD設計案であった。

敷地は団地メイン道路の終点で、S字カーブを描く道路に囲まれているのが大きな特徴である。ホールは地域交流スペースとしてもっとも重要な空間と位置づけられ、玄関の延長上で会館の中央部、いわゆるヘソの位置に設けられた。会議や各サークルのための諸室(洋室1・2)はホールひとつの軸線上に配置し、可動壁で年一回の自治会総会(一五〇名)のスペースを確保した。洋室1をS字カーブに囲まれた敷地形状に合わせて円形平面とし、周辺の穏やかな山並みのかたちに対応するドームをのせ、地域のランドマークになるよう掛けた。

以上明快なコンセプトによる設計はSD設計岩瀬所長のリーダーシップのもと、あぐの強い事務所の卒業生三人が協力して、ごく短期間にまとめたものである。コンペ提案図がほぼそのまま実施された。私もスタッフのひとりとして貴重な経験を積みこつてきた。竣工時、住民の皆さんから「思っていた以上のものができあがった」と喜んでいただき、今でも訪れるたびに歓迎される。思えば設計屋冥利につきる仕事であった。

(加瀬澤文彦)

大椎台自治会館を見学して

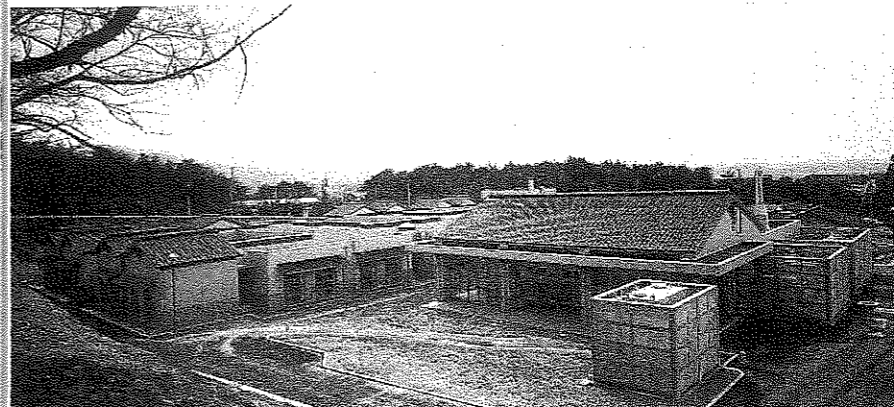
この会館見学の日、ホールで男子厨房に入る会の面々がそばを手打ちしていた。ここにはたしかに気の置けない人々とのつき合いがある。端正な外観デザインだが、ドームの屋根が街並みにやわらかな景観を生んでいる。外構が固く仕上がっているのが気になった。裸地を残しておけばこの町の人々ならきっと楽しいしつらえをしたことだろう。

(森田一夫)

ワーク & ワーク 新建

はるかぜの丘
(精神薄弱者授産施設)

所在地：富山県上新川郡
大沢野3110
敷地面積：153,439m²
延床面積：2,415.18m²
建築面積：2,730.19m²
構造規模：鉄筋コンクリート造平家建
一部鉄骨造
工事費：730,000千円
設計期間：1994年11月
～95年6月
施工期間：1995年7月
～96年3月
施工者：清水建設
設計者：富山県建築設計
管理協同組合
鈴木一級建築
士事務所
金山泰夫
福見設計
創英設計



外観 北東面 道路より食道棟(右側)、居住棟-女子寮(左側)を見おろす



外観 南西面 居住棟-男子寮 切妻屋根を連続させたファサード

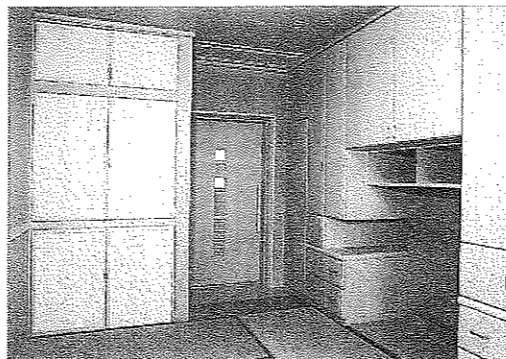


南側立面図

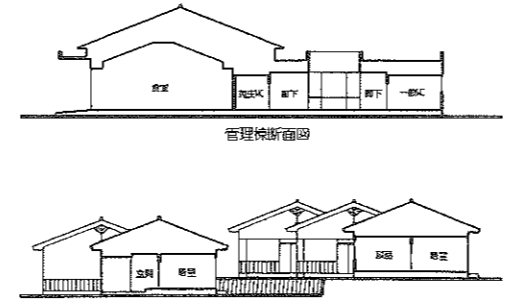
東側立面図



居住棟(女子寮) 廊下~居室出入口まわり

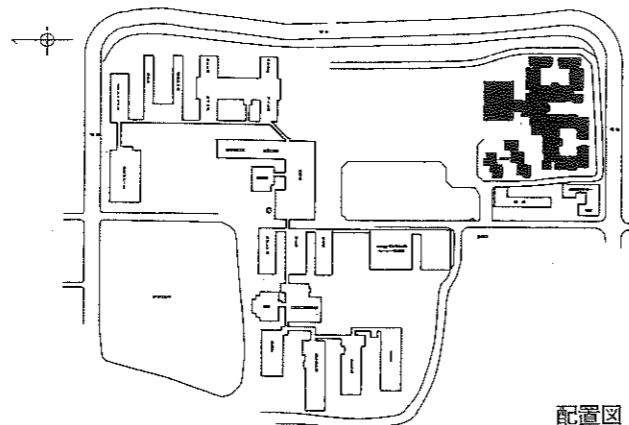


居室(和室) 出入口~収納家具

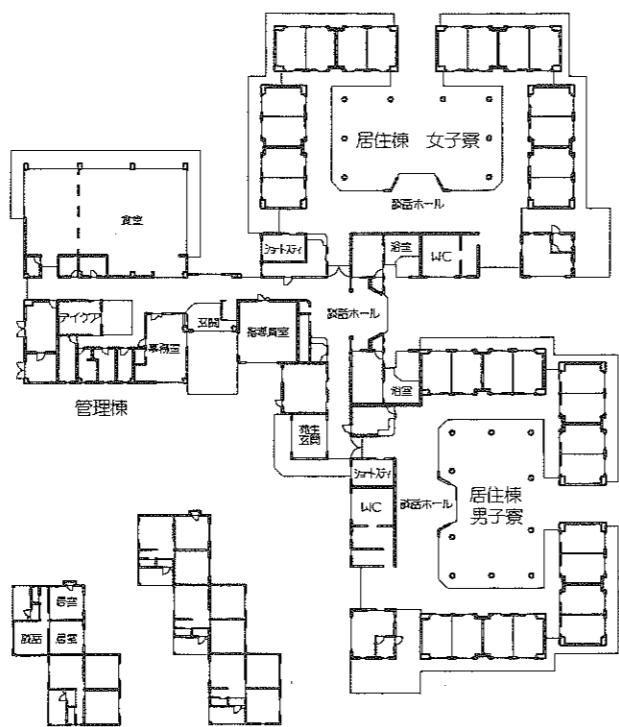


管理棟断面図

小宿舎棟断面図



配置図



平面図

小宿舎棟

設計主旨

セーナー苑は大沢野町の丘陵地高台に位置し知的障害者三〇名(授産・更生・重度)を収容する施設です。計画は五カ年で既存建物を改築する予定です。第一期のはるかぜの丘は、授産棟・小宿舎男女合わせて八〇名の収容施設です。

設計にあたり

- ・ 男女間の関係
- ・ 入居者の主体性
- ・ 日常の生活について
- ・ 管理者と入居者の関係

以上の事について、施設側と議論するつもりでした。その中で入居者の主体性について、よくわからないまま設計が行われたように思われます。直接入居者と話をし、意見を聞かなかつたことによるものです。もつと中に入りこんで、本来の姿を理解しなければと思っています。

男女間の交流についても一応、居住ゾーンは完全に分けましたが、疑問が残っています。男女棟(約二〇〇名)ごとに中庭をかこむように居室を配し、中央に談話ホールを計画しました。

施設側との議論の中で施設全体のイメージは何なので私たち設計連合は「家の集合体」を提案し、受け入れられました。

施設の外観は家並みを意識し、大きなスケールをやめ住宅のスケールで日本瓦葺きで計画しました。

完成後、大きな施設にもかかわらず、住宅のイメージが強く表現されていて、落着きがあると皆さんからの評価でした。

現在、二期工事にかかっていますが前段での反省点を生かして、施設づくりとは何かを追求し、より良い建物を創ってゆこうと思っています。(金山泰夫)

「はるかぜの丘」生活者との語り

一人で突然訪問し、約一時間三〇分、はるかぜの丘で生活している人たちと語り合ってきました。出会う人毎に自己紹介と挨拶を繰り返して、数人と仲良くなりました。時はゆっくり、おだやかに流れていました。中庭でプランターに水をやっている人、談話室でヒゲをそっている人、テレビを見ている人、語り合っている人、散歩している人、部屋で本を見ている人、等々です。親しくなった方の言葉を紹介します。明るく楽しい(倉元さん26歳)。家にたまに帰るが、はるかぜの方が良い(水戸さん47歳)。部屋は落ちついていいですよ(野々さん61歳)。また、会いに行きたいです。(今村彰宏)

ワーク & ワーク 新建

高橋邸

所在地：神奈川県川崎市
麻生区向原
用途地域：第1種住居専用
地域

敷地面積：224.6㎡
(以下は地下駐車場を除く)

延床面積：97.1㎡

建築面積：54.6㎡

構造階数：鉄骨造2階建

工事費：2千190万円

設計期間：1994年5月

～94年10月

施工期間：1995年4月

～95年9月

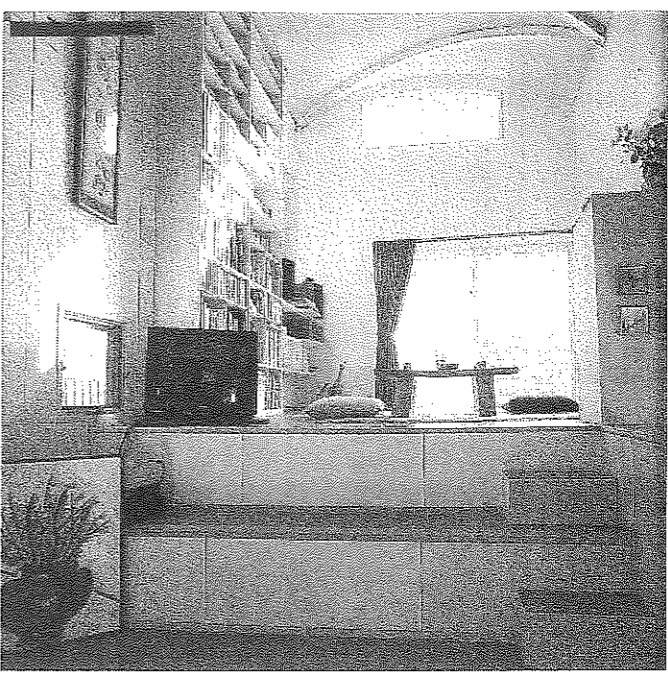
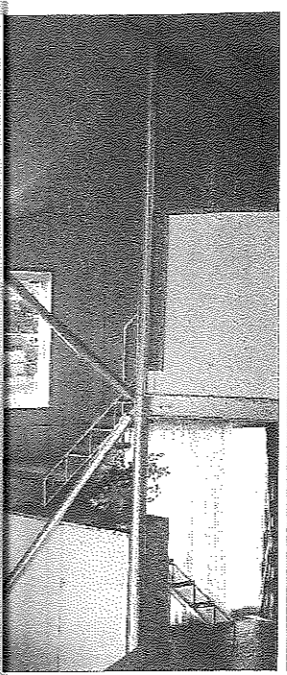
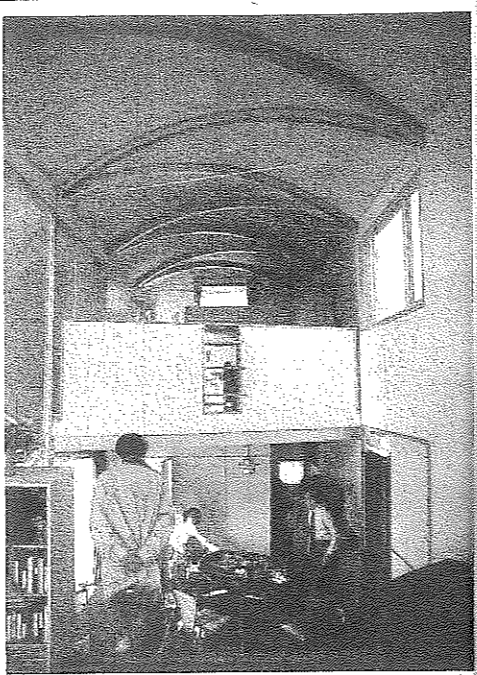
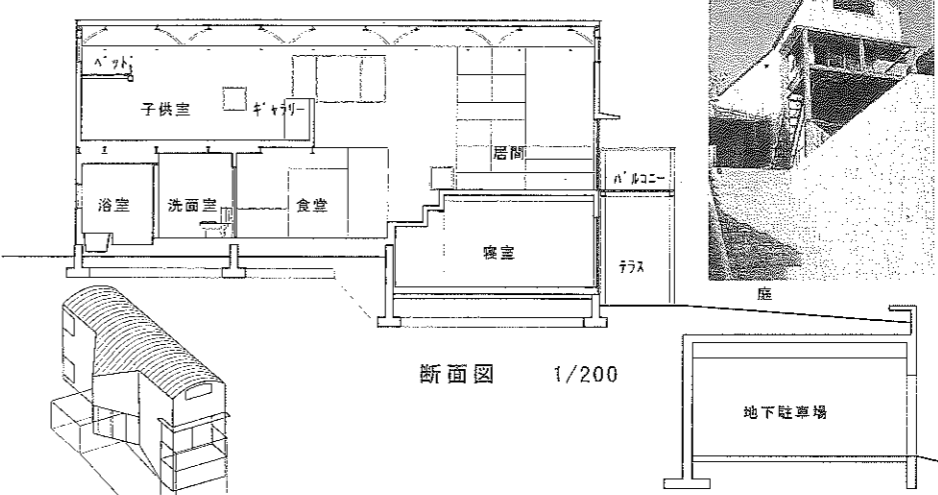
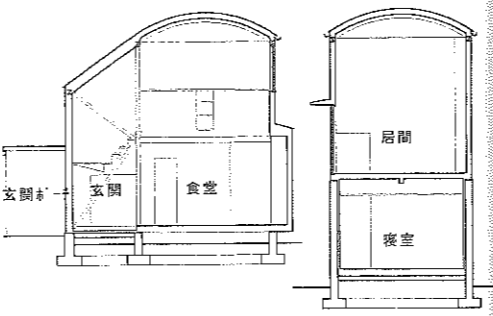
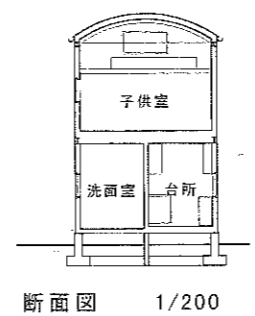
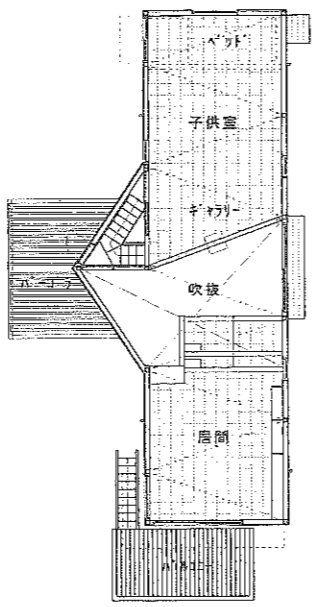
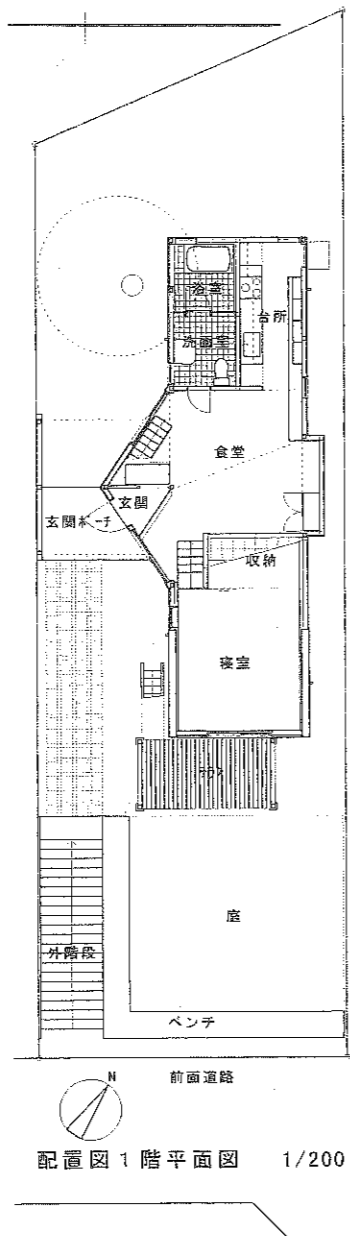
施工者：清水工務店

(株)弘技建

(鉄骨工事)

設計者：(有)建築工房匠屋

大崎元

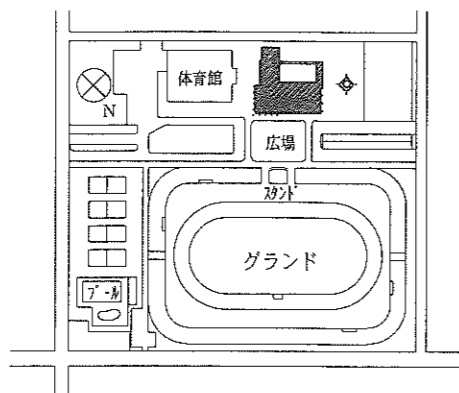


設計について
敷地は約六八坪の細長い土地で五m程度の高低差があった。下の道路に面して地下駐車場を置き、上のレベルに地山を残してその上に建物本体を乗せている。建物の内部も前後にスキップフロアにして高低差を少しずつ解消した。構造は鉄骨造で梁を内部に表わしている。
土地の形状と法規から細長い建物になったが、できるだけ大きな内部空間をとって家族の一体感をそのまま表わせるもののように考えた。そこで、大きな天井高の食堂を中心にして各部屋を配して、家族がどこにいてもお互いの存在や気配を感じられるようにした。施主の家族についての考え方が明確だったので、空間の配置は中心から両端に向かってプライバシーが高くなる明快な構成にすることができた。その考え方は構造や設備を単純化することにも応用できて、結果的にローコストにもつながった。しかし、大きな吹き抜けの空間は暖房などの面で不利なことが多く、熱環境の向上にはさらなる検討が課題として残っている。

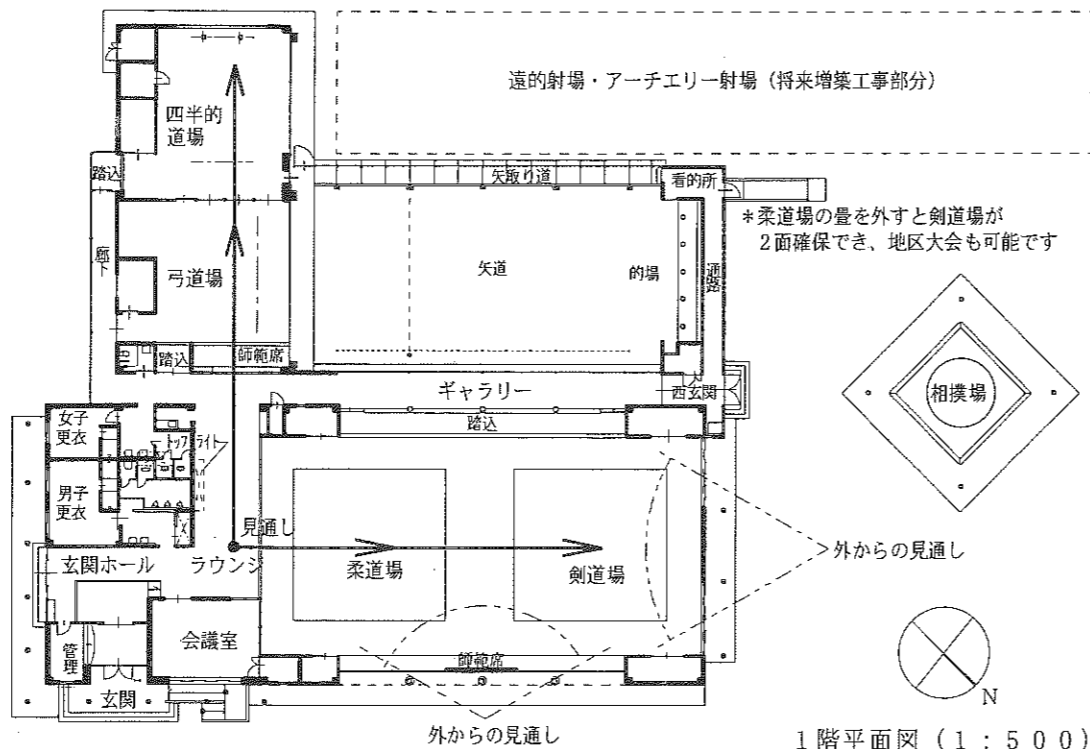
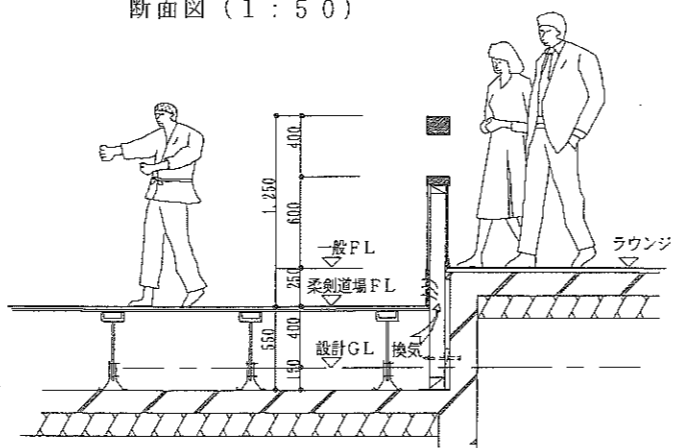
左右は建て込んでいるが、ほぼ一日中陽光が入り込み、風が通り、眺望も取れるなど、自然環境を建物に取り込むことにある程度は成功した。模型等で空間の流れをきちんと理解し、打合せにも積極的だった施主との一つ一つのやり取りが、今改めて大切だったと思う。
施工について
施工は一部RC部分と鉄骨造部分を分離発注とし、構造体が立ち上がってから大工方に木造で仕上げてもらう方式としたが、現場管理は当初から大工方に参加してもらった。大工方は現場近くに住む親子で、施主が自分の足で見つけてきた。
施主は床の塗装や外構を手がけ、住まい手である以前に作り手としてこの住宅に関わってきた。そうした施主の積極性が結果的に様々な場面で信頼関係を生み出し、訪れるたびに木々や花が増え、新興住宅地の中にあっても成長している。
(大崎元)

未完のシンプルハウス
高橋邸はいかにもニューファミリアらしいモダンで明るい外観である。敷地一杯のポリウレムの家が並ぶ中で、斜面を上手く使い、周囲にゆとりを持っているのがよい。内外装とも仕上げはごく簡素で、外構も裸地のままの入居だったそうだ。以前のアパート住まいの時より家に居る時間が増えたというご主人は、自ら塗装や造作を手掛け、今は庭づくりに余念がない。シンプルなモダンハウスが時を経て仕上げられていくのが楽しみな住まいである。(露田一夫)

配置図 (1:5000)



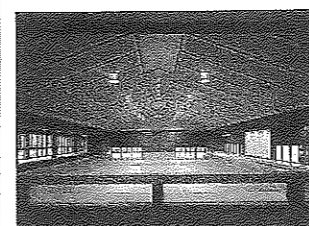
断面図 (1:50)



1階平面図 (1:500)



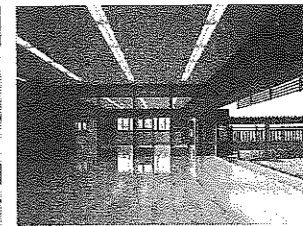
・東側玄関回り外観



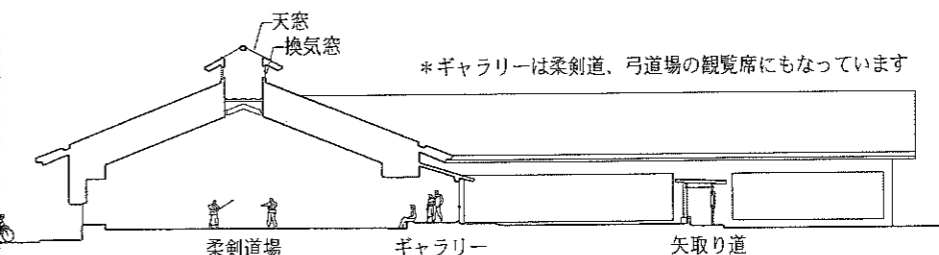
・柔剣道場からの見通し



・ギャラリーからの見通し



・弓道場からの見通し



断面図 (1:400)

ワーク & ワーク 新建

鏡町武道館

所在地：熊本県八代郡鏡町
 用途地域：無指定
 敷地面積：5000㎡
 (公園全体=42,946㎡)
 延床面積：1279.62㎡
 建築面積：1497.12㎡
 構造階数：鉄骨造平屋建
 工事費：2億5000万円
 設計期間：1993年2月
 ~94年1月
 施工期間：1994年2月
 ~95年3月
 施工者：(株)高組
 設計
 総合：(株)協和コンサル
 タンツ
 建築：土公純一
 構造：川崎 薫
 設備：古田隆次
 +野口正秋

設計主旨

当武道館は柔道場、剣道場、弓道場、四半的道場、相撲場を持つ町民のための武道館で、総合グラウンドの中に計画されました。武道館という何か堅苦しく閉鎖的な近寄りにくい雰囲気を持つ空間というイメージがありはしないでしょうか。この武道館は子供から大人まで利用する町民のためのスポーツ施設です。だから明るく開放的で親しみやすい空間を目指しました。ちょうど、基本設計時、新会員の上和田茂氏(九州産業大学教授)が公共体育館のオープン化というテーマで『建築設計資料41』(建築資料研究社発行)に論じられていたのを強くし、町の担当者にも計画を提案し設計を進めていきました。

工夫・見通しを確保する
 *壁を造らない。当初、柔剣道場のイメージがわからない、安全性は大丈夫か等の意見もありましたが。
 *透明ガラスの壁・壁が必要な部分には透明ガラスの壁・建具を造る(危険性のありそうな部分は横桎に)。
 *レベル差を造る。柔剣道場は、一般床と二五cmレベル差を設け、見通しを確保すると共に練習や試合の観客席にもなるように造る。
 ねらい・外からは練習風景が覗け、内部に入りラウンジに立つと柔剣道場や弓道・四半的の道場まで見渡せ、全ての練習風景

が把握でき、気軽に好きな道場を練習者を邪魔せずに見学できる。「散歩がてら孫を連れたいおじいちゃんがかよつと覗いていけるような、小学生が弓道場を気楽に覗けるような」
 練習者・競技者は見学者などを意識するようではダメなのではと考えているのですが(利用者の声を聞くとうとう二回訪れましたが)いずれも閉鎖的でダメでした。
 それから、自然採光が出来ない便所などに天窓を計画していたのですが、町の施設で天窓が設置してあるものは全部雨濡れしているという理由だけで外されてしまったのは悔しい限りです。

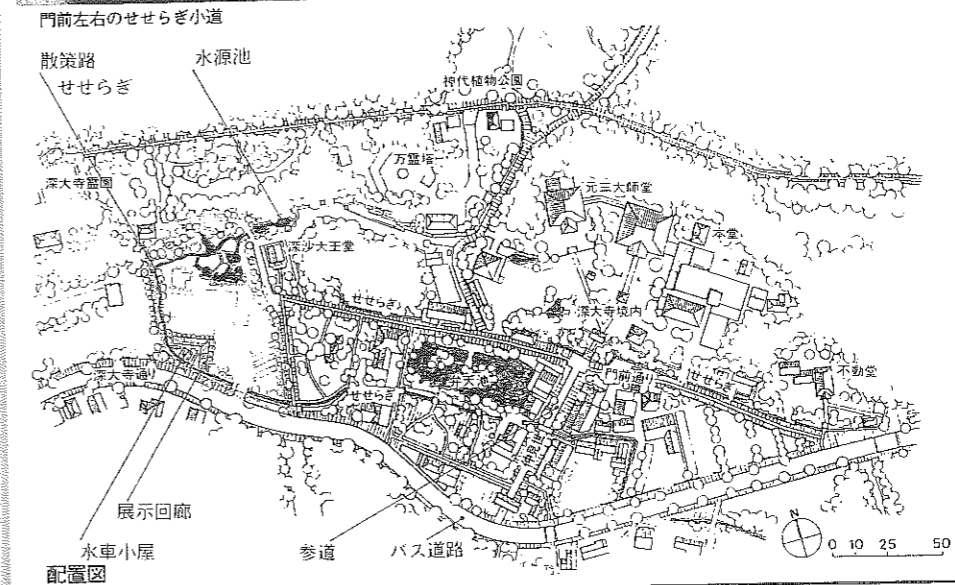
土公純一(弓道五段、土公建築・環境設計室)
 鏡町武道館を通して想った事
 設計者が末尾で語っていますが(天窓の件)、公共施設は、どうしてこうも失敗が許されないのでしょうか。

表現を変えたら...。あえて、「前例を創る事」に挑戦させてもらえないのです。ようか。世に言う大先生とかの試みには、あんなにも寛容な人々が...。(最近、私が経験した事を含め、少々ヒガンでいます)。
 この建築の外観しか見る機会がなかった私にとって、屋根仕上の重厚さの解消と、隣接グラウンド用スタンドとの統一性は、もっと追求する余地があったのでは...と多少、考えます。
 (卯野木 稔)

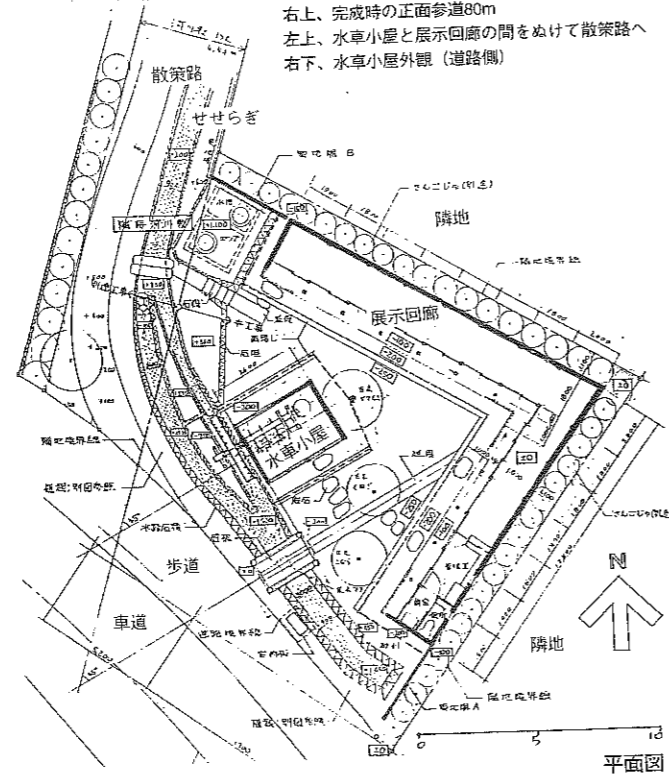
ワーク
&
ワーク
新建

深大寺周辺修景
と水車館
(調布市博物館分館)

所在地：東京都調布市
深大寺元町5丁目
修景：仲見世、門前通り、
弁天池など
完成：1988年
施工：深大寺建設工業
東亜道路株式会社
水車館：水車小屋、展示
回廊、散策路、
水路
延面積：水車小屋 9.72㎡
木造堂舎
展示回廊 45.72㎡
木造棧瓦葺、一部
コンクリートパネル
散策路44m、水路57m
設計期間：1989年8月
～91年4月
施工期間：1991年11月
～92年4月
工事費：1千94万円
施工者：アシザフ建設(株)
見玉土建
発注者：調布市都市計画課
設計者：三沢建築研究所
(三沢浩、筒谷克彦)
監理者：調布市土木課

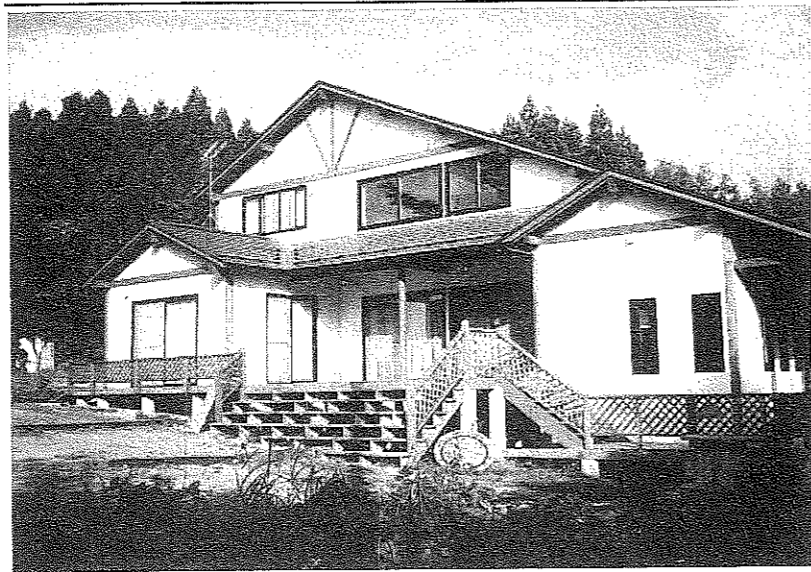


右上、完成時の正面参道80m
左上、水車小屋と展示回廊の間をぬけて散策路へ
右下、水車小屋外観(道路側)

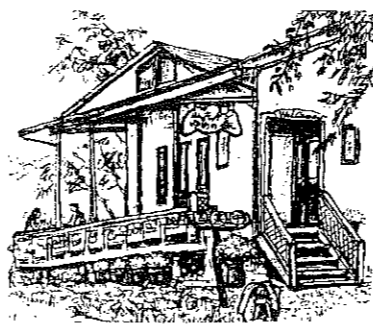


設計にあたり
水の冷たい所には、うまいそばがあると
いわれます。武蔵野台地の「はけ」に沿っ
た、深大寺周辺は湧き出す水が多く、戦後
ふえたそば屋が門前に市をなし、参詣人に
受けています。十年前「深大寺修景推進協
議会」ができ、市の都市計画課、寺の住職
谷玄昭氏、そして地元の人びとが、景観対
策には「修景」が必要だと考えました。
寺は池を美しく直し、市は参道とせせら
ぎを考えました。私は横浜桜木町駅跡に野
積みされた敷石を買い上げるよう、市と交
渉し、手を加え仲見世に敷き、幾百年の歴
史ある参道のように「修景」しました。こ
れを機に東西へのせせらぎ道も、そしてバ
ス道路も改良し、全体が寺と一体化を始め
ました。
そして二年後、明治に始まり昭和三十年
まで動いていた水車の復活の声があがり、
水源池から水をひき、散策路とする案が検
討されたのです。水車小屋だけでは人が来
ないと考え、小博物館として狭い敷地をと
りまくような展示回廊に、水車の歴史と農
作と農具の展示館を設計しました。
昔から敷地にあった高木を数本残し、又
しても昔からあったような石橋をとりつ
け、農家の通り庭のような、あるいは土間
のような場所を通りぬけ、水路に沿った散
策路を水源池まで逆上するような計画を実現
化しました。
水車は直径四m、五つのつき臼、一つの
ひき臼を再現。地元にはそば畑をつくり、収
穫し、製粉し、そのそばは行事の折に振舞
われています。発想は地元と寺。水車組合
と水利組合が維持をはかります。市は「み
ち・みどり・みず」の景観の原理を「修景」
として実現。寺は全山緑の発想の許、観光
名所「だるま市」の寺としても打出したと
いう次第。
(三沢 浩)

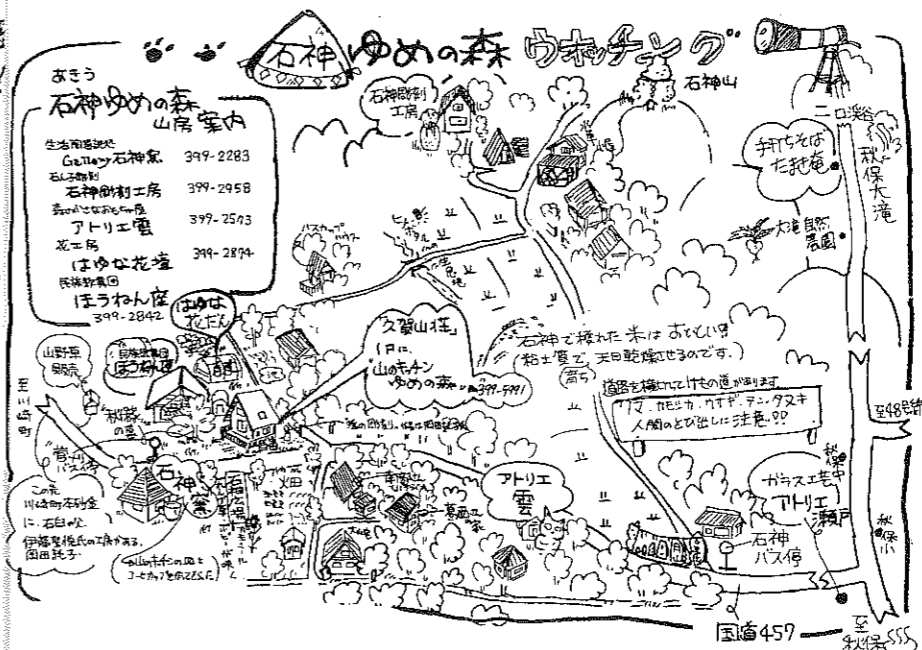
深大寺仲見世の風景
この風景は人の心をゆったりとさせ、動
きを緩やかにするものらしい。懐かしい時
への回想。歩くテンポは略々皆同じ。立ち
止まり、佇み、見上げる。だけどお互いじ
やまにはならぬ。夜来の雨で石畳はしっと
りと湿気を含み、目地苔が美しい。崖線の
せせらぎに沿う宿場風情の深い緑には朱色
がよく似合う。朱傘、提灯、縁台の緋毛氈、
朱のれん。縁台は外と内との繋ぎ。自然に
包まれた安心感、人肌の味わい。一人でも
熱燗の酒がつい進み、ふと気付けば仲見世
通りに薄日がさし、石畳が乾いていた。
(吉田清明)



南から



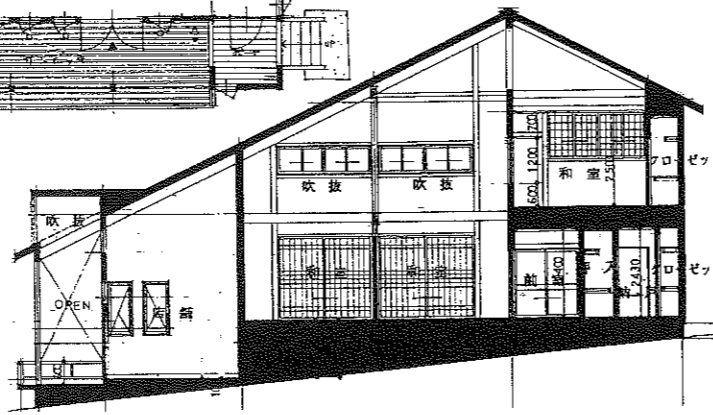
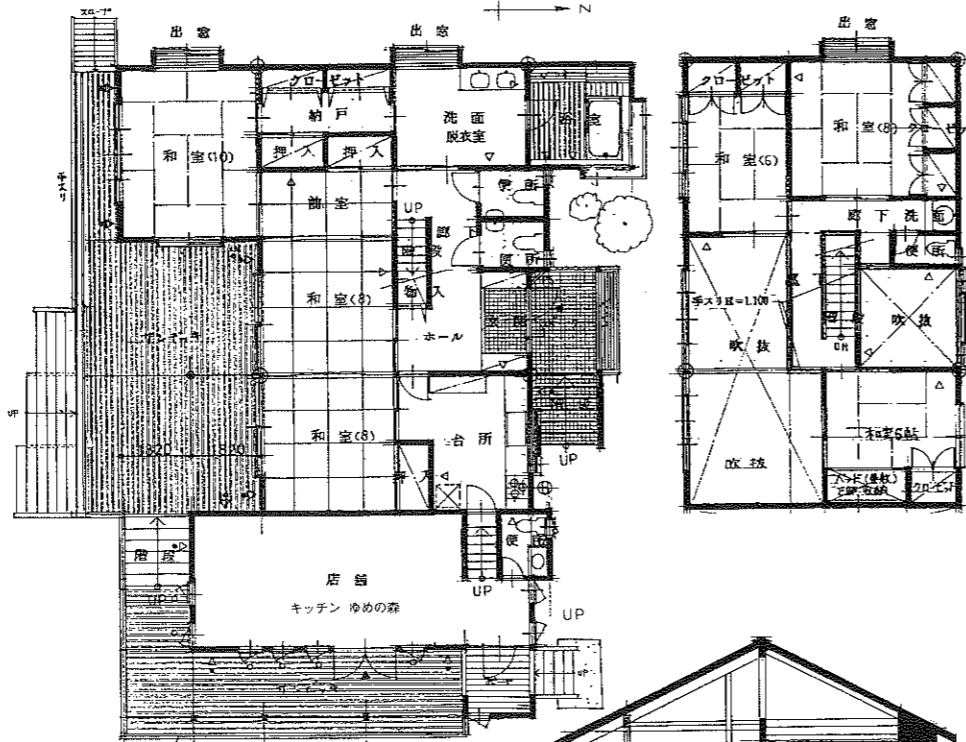
北東から



ワーク & ワーク 新建

久賀山荘

所在地：仙台市太白区秋保長袋
 用途地域：無指定
 敷地面積：1000㎡
 (内500㎡借地)
 延床面積：205.78㎡
 建築面積：150.30㎡
 構造階数：木造2階建
 工事費：3千万円
 設計期間：1994年5月～95年5月
 工事期間：1995年7月～96年4月
 施工者：(有)荒木建業
 基本設計：宮田猪一郎
 田中康二
 実施設計：ササキ設計



③ 夢の里の案内窓口
 地域には集会施設がない。地域の人に使ってもらえる建物。

けばデッキが演奏舞台となる。障害をもった子どもたちのための劇場、高齢者の食事展示会としても活用されている。(高見恒憲)

「相続財産を減らしたいから使い途を考えてくれ」という相談があった。親が亡くなって相続税を払ったらあんまり高いのでびっくりし、払った税金が軍事費や汚職の資金に化けるのだったら自分で社会のために使いたいという、至極尤もな話だった。そこで、老人福祉の枠の外にいる元気な高齢者がいつまでも元気でいられるためにという建物をつくった。

久賀山荘は、温泉で有名な秋保(仙台市太白区)の石神地区にある。この地区は昔、伊達の殿様に献上したという由緒正しい炭焼の里であった。つまり山里である。戦後開拓農民が入植したが、離農者も出て過疎地域になった。そこに焼物や彫刻をする若者達が住み始め、「夢の里」と名付けた。

設計意図
 ① 高齢者・障害者も利用できる保養・集会・宿泊施設
 始めは「高齢者・障害者のための」と考えていたが、それはノーマライゼーションの趣旨に反するので「誰でも使える」とした。会合もできるみんなの別荘というイメージである。

この山荘は、研修・交流・保養・合宿として利用できるのが特徴で、五月の開館以来半年でのべ千五百人をこえる利用者があった。不登校や落ちこぼれをなくそうと入学したばかりの高校生が合宿をしたり、地域の盆踊りや秋の農産物の販売には数百人の市民と地元住民との交流があった。さらに市内の子どもたちがこの山荘に泊まり込んで、彫刻、美術、音楽家との交流をもつなど学校の教師からでは学べない体験をしている。コンサートを開

この里にも来訪者が来るようになった。来訪の動機は「ここはなんだろう」というのが多いが、その人達を案内する窓口。そのためにレストランをつくった。

木造在来工法で、構造材や配線配管、金物が表れた家にした。また「高気密高断熱工法」と呼ばれる工法を実験として採用した。

(宮田猪一郎)

仙台駅から車で四〇分ほどで仙台・名湯秋保温泉がある。その少し山形県よりの秋保石神という地域にかけて産業廃棄物処分場建設の計画があったが、仙台の数少ない自然環境を守ろうと住民運動で建設を撤廃させ、運動に参加した住民の有志はそれぞれが必要とする土地を購入した。豊かな環境にかこまれる山間には、彫刻、陶芸、美術、音楽家、民族歌舞団などの人々が移り住んで創作活動に励んでおり、そのちょうど真ん中あたりに位置して「久賀山荘」は建てられている。

ワーク & ワーク 新建

西塚邸



夏椿の季節が待たれる南面からの外観

所在地：札幌市豊平区
西岡1条9丁目
用途地域：第一種低層住宅
専用地域 (40-60)
敷地面積：164.4㎡
延床面積：97.3㎡ (59.1%)
建築面積：60.8㎡ (37.0%)
構造階数：木造2階建
外装：サイディング
開口部：ペア・ガラス入樹
脂製サッシ (二重)
暖房：灯油FFストーブ
設計期間：1995年7月
～95年12月
工事期間：1996年4月
～96年6月
施工者：(株)石川建設
設計者：アトリエ遊
永井和子

設計者の想い

家を支えるのは、柱と梁だ。
家を守るのは、屋根と壁だ。

それだけでは
シエルターと変わらない。
家が育てるのは、個々の暮らしだ。

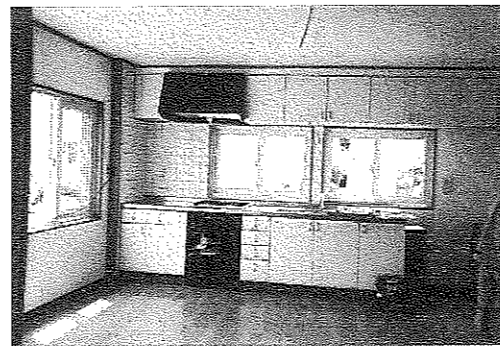
人は、暮らしを閉じ込めたくないから
窓を開ける。

人は、愛を迎え入れたいから
扉をつける。

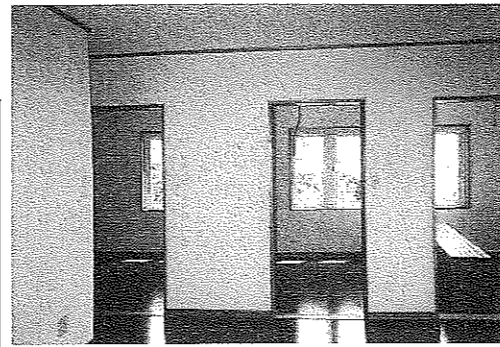
扉を押し開けて
駆け出すのだ、
人の群れにつながる道へ。

家はそうやって
社会的な存在になる。

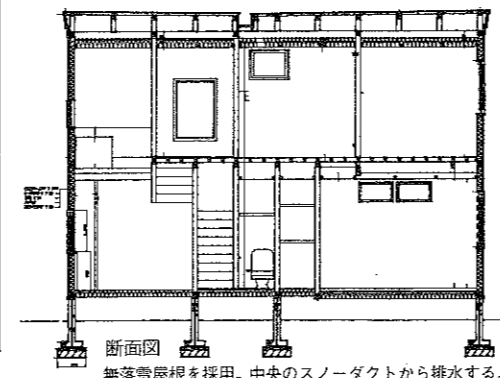
垣根や塀は
風を防ぐだけでよいのだ。



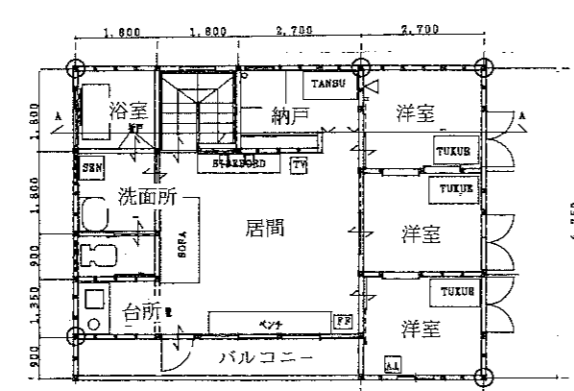
パン教室にも使う広々とした台所。収納もたっぷり。



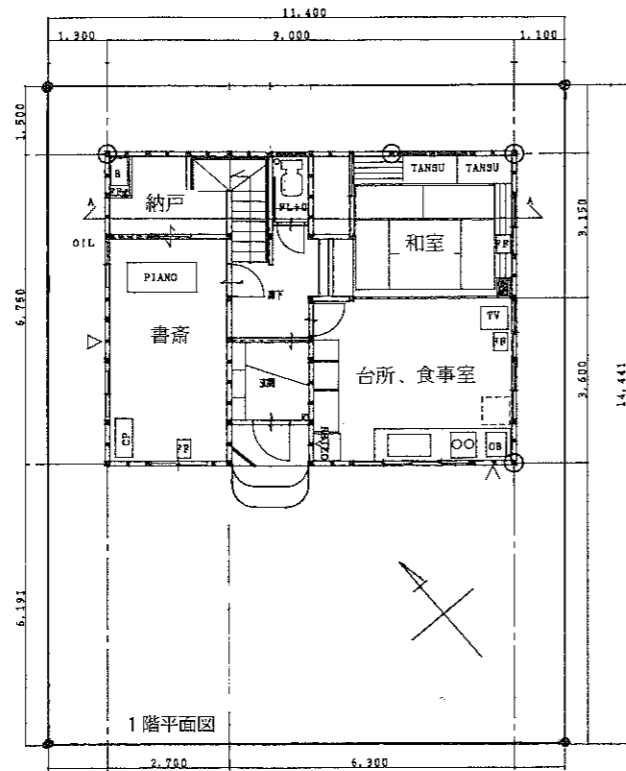
三人の娘さんの部屋。居間との間仕切りは取りはずし可能



断面図
無落雪屋根を採用。中央のスノーダクトから排水する。
凍結深度は60cm



2階平面図



1階平面図

東京の女性技術者の会から紹介をいただいてお電話したのが一九九五年、六月二十九日、お宅に伺ったのは七月三日の夜だった。
現在お住まいの家を建て直したい、ハウスメーカーや工務店まででなくきちんと設計者をそれも女性の設計士に頼みたい、というご希望だった。

その理由として水回りの改築をと思ったが建て直す方が割安だと考えた。工務店に頼んでみたがワンパターンのプランしか出てこない。マイホームセンターも行ってみたが立派すぎて予算に合わない。雑誌で見た、女性技術者の作品がとて気になった、など率直に気持ちを話してくださった。

まず最初から、設計者を入れると決意してくださったのが一番嬉しかった。

度重なる打ち合わせに夜の時間をたくさん割いていただいた。三人の娘さんたちも参加して意見を言ってくれた。最初は遠慮気味だったご主人も最後は自己主張されてプランに生かすことができたと思う。

ご家族全員が家づくりに熱中して下さり、特に夫人の熱意が際立っていて様々な提案もいただいた。台所のシステムや洗面台は当然だが、外壁の色、屋根の色、全部現実に建っている家を見学されて選ばれたり、よい家を作ろうという努力を最大限して下さったことが良い結果につながった。設計者の「変な」提案も素直に聞いていただいた。結果が好評でほっとしている。

将来の改造を予想して取り外し出来る工法にした二階の娘さんたちの部屋の壁が防音に弱いというのはその通りだが、家族の生活音だから、その問題にはなるまいと楽観している。

ただ一階トイレに最初つける予定だった手洗い器を予算の関係で外したのは失敗だった。建て主さんも納得されたことだったが、ご家族の清潔好きを深く読めなかったのは設計者のミスだったと反省している。

こまかな仕事にに応じてくれた大工さん、工務店の担当者の方にも感謝しています。

何よりも精一杯、楽しく仕事ができて幸せでした。
(永井和子)

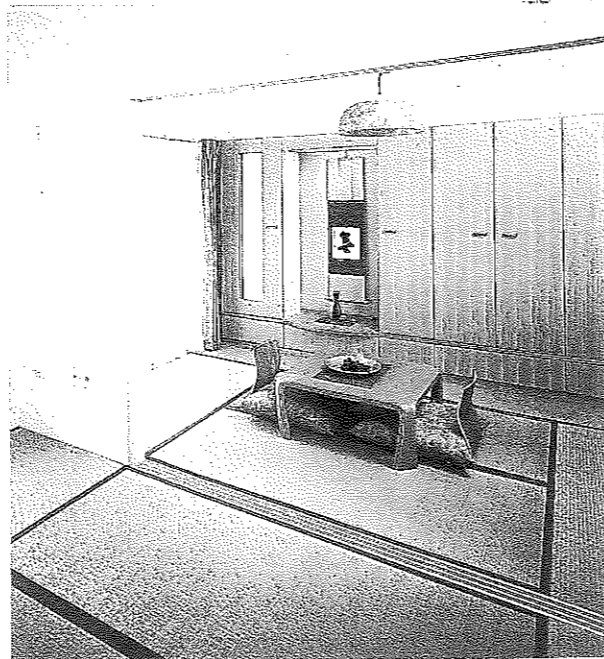
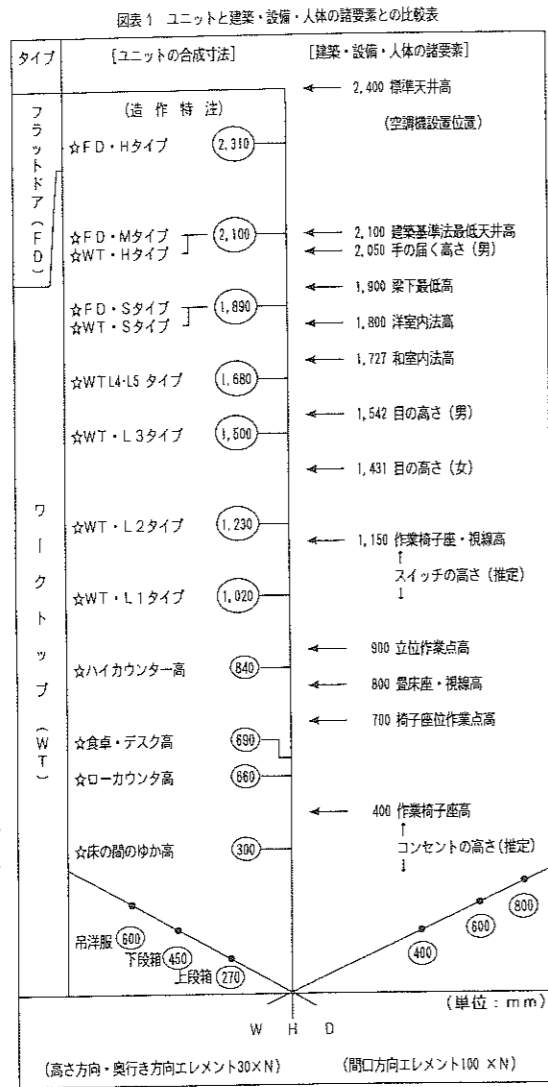
建て主さんの感想

一言でいって、快適です。

まだ東側の隣家が建っていないので窓からの陽射しがまぶしいくらい。凝った量(縁なし)やけないか心配です。

食堂をかねた台所が思った以上に広くて、前はきちきちだった大きな食卓がゆっくり使えます。夫婦の寝室にしている和室と食堂が段差無く移動間仕切りにしたのと、床の間の背中を半分活用した玄関のクロックとトイレの外ドアの鏡が好評です。二階のペランダの手摺の色は賛否両論で、誉められると夫の胸の張り具合が違ってきます。

ただ娘たちは、もう少し部屋が広かったらと思ったようです。

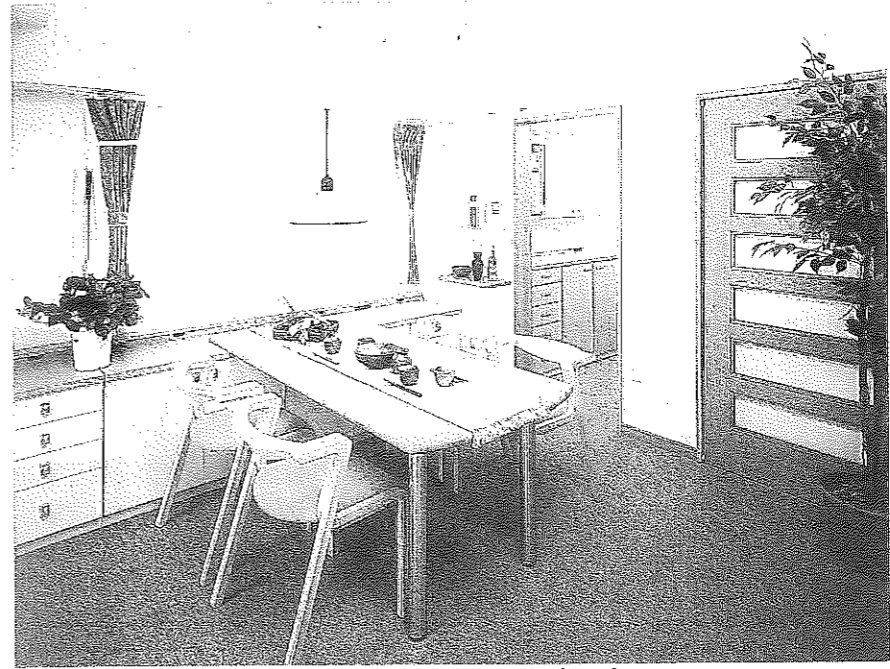


和室の大梁下に納入したフラットドアタイプ (W3.4m)

図表2 かすみだなの合成タイプ一覧

タイプ	ワーク					
	L0	L1	L2	L3	L4	L5
記号	L0	L1	L2	L3	L4	L5
機能	P0	P1	P2	P3	P4	P5
合成の要因	天井高2400					
	天井高2100					
高さ方向エレメント	上段 U	3	3	48+3	69	48
	中段 M	33	54	33	33	54
高さ方向エレメント	トップ T	3	3	3	3	3
	箱 C	63	63	63	63	63
合成高	66	102	123	150	168	

注: すべての欄はバックパネルをつけると開仕切り(P)になります。この他、下段の箱Cを立作業に適した84cmとする組み合わせでもできます。



公園パークサイド石神井のダイニングルームに納入したワークトップタイプ (W2.4m)

アップタイプ(WT)						フラットドアタイプ(FD)			造作タイプ		
S1	S2	S3	H1	H2	H3	H4	FL	FM	FH	特注	
PS1	PS2	PS3	PH1	PH2	PH3	PH4	PFL	PFM	PFH		
90	69	48	111	90	69	48	—	42	42	天窓取付可 スリムタイプ	
33	54	75	33	64	75	96	162	162	162	天窓取付可	
3	3	3	3	3	3	3	27	6	27	S1, S2, S3, FL	
63	63	63	63	63	63	63	189	210	231	取付可	
189						210			231		(単位: cm)

注: わせでもできます。

中村先生のデザインは豊富な経験と、持ち前の生活者らしいやさしい造りのものばかりです。造りつけ家具のように見えては、生活の変化に対応して組み替えが自由で、分解すれば引越もできるし、また床に据えつけて、地震時の転倒を防止するなど、安全に配慮しています。この様な既成品らしからぬ造りの上に、和室にマッチした床の間や、明り障子の入ったガラス棚等々をとりとめて、あれこれのデザインは中村先生ならではのものだと思えます。

(山本ヒカル)

特にワンルームマンションなどの間仕切りに使うとフリープランの住宅になります。製作内藤家具インテリア工業株式会社(中村圭介)

住まいと収納 ハウジングする収納家具
主婦を悩ます問題の一つとして収納があり、婦人雑誌には色々なアイデアが載っています。その原因は「チョット便利」という商品の氾濫にあります。部屋との調和を忘れた婚嫁家具のあり方にも起因しています。これを解決しようと発想したのが、ここに紹介する「かすみだな」です。
収納を考える場合一番重要なのは、建築・設備・人体の諸要素と、ユニット家具との寸法関係です。これについては図表1にまとめました。
高さ方向は、多軸ボール盤のピッチである3cmの倍数を採用し、合板の取り都合も考慮しました。開口方向は建築が芯押えである限りピッチは無理で、収納と運搬を考え、四〇cm、六〇cm、八〇cm、奥行は四五cmを基本とし、吊り洋服のみ六〇cmも併用し、これを連結する傾斜ユニットを設けました。
収納には、使用収納(ワークトップタイプ)とストック収納(フラットドアタイプ)があるため、この二種に分け、それぞれ、上・中・下の三段構成にしました。
これにより図表2のような組み合わせができ、W八〇cmの一単位で一五〇〇種二連結のH一八九cm、W二二〇cmで約八二〇〇種の収納と同等の間仕切棚ができます。
また背後の配線スペースで、壁のコンセントから、上段下端の照明や、甲板のコンセントに結線でき、ワープロなどが使えるだけでなく、中段が浅く帆立板がないので、視線が通り部屋を狭めません。
組立はボルトとナットですので、ライフステージの変化による組み替えや、引越してもでき、耐震金具で床取付もできます。
問題は多品種管理にCADが必要な上に家具店にレイアウト能力がなく、建築家に住宅計画の一環として組み入れていたただかなければ流通しにくいことです。
特にワンルームマンションなどの間仕切りに使うとフリープランの住宅になります。製作内藤家具インテリア工業株式会社(中村圭介)

ワーク & ワーク 新建

かすみだな

用途: 組立収納家具
寸法: (本文参照)
材質: フラッシュ構造
なら突板ウレタン塗装
ナチュラル (N)
ブラウン (B)
ポリエステル化粧板
アイボリー (I)
グレー (G)
製造者: 内藤家具インテリア工業株式会社
☎0552・84・2955(代)
設計者: 中村デザイン事務所
中村圭介(特許権所有者)
☎0423・96・6182
カタログの請求は製造者へ
組合せの御相談は設計者へ